

食育ほつとライン

NO.14

がんは死因第1位、国民の3人に1人は罹るという国民病です。と同時に生活習慣病のひとつなので、食事に注意することで3割、禁煙することで3割防ぐことができるといわれています。そこで、No.12からシリーズで「がんを防ぐための12力条」を基本に、ライフスタイルでのがん予防のポイントを紹介しています。

国立がんセンター監修、(財)がん研究振興財団刊行の「がんを防ぐための12力条」

6. 食べものから適量のビタミンと繊維質のものを多くとる — 緑黄色野菜をたっぷりと —

発がんを防ぐ
ビタミン類は
A・C・E(イース)

種類		特徴	主な食品
脂溶性ビタミン	ビタミンA	目の網膜色素の成分。 皮膚・粘膜の健康保護、 抗ガン作用	うなぎ、鶏レバー、肝油、強化マーガリン にんじん、ほうれん草、小松菜、海苔
	ビタミンD	カルシウムの吸収促進、骨の成長促進、血中カルシウム濃度の調整	鮭、うなぎ、かわはぎ、しいたけ、きくらげ、いわし
	ビタミンE	細胞膜の酸化予防、過酸化脂質の抑制、老化予防、 抗ガン作用	ひまわり油、綿実油、胚芽油、アーモンド かぼちゃ、緑黄色野菜、たらこ
	ビタミンK	血液凝固因子の精製、カルシウム結合促進、タンパク質の生成	納豆、ブロッコリー、ほうれん草、海苔、わかめ
水溶性ビタミンB群	ビタミンB1	糖質の代謝、神経機能正常化	豚肉、タイ、うなぎ、玄米
	ビタミンB2	脂質・糖質・蛋白質の代謝促進、成長促進、過酸化脂質の分解	豚レバー、いわし、牛乳、チーズ、卵 かれい、ぶり、うなぎ
	ビタミンB6	アミノ酸の代謝に関与、 神経伝達物質合成	マグロ(赤味)、カツオ、バナナ、酵母、小麦胚芽 牛レバー、サツマイモ
	ビタミンB12	補酵素として様々な反応に関与、 赤血球の生成、神経機能維持	牛レバー、しじみ、あさり、牡蠣、さんま
	葉酸	赤血球の生成、DNA合成の促進、 胎児の先天異常予防	牛レバー、モロヘイヤ、春菊、ほうれん草、 アスパラガス、卵黄、胚芽
	ビタミンC	コラーゲン合成、筋肉・血管・皮膚・骨の強化、過酸化脂質の除去・ 抗ガン作用	みかん、レモン、キウイ、ブロッコリー、ほうれん草

食物繊維をたっぷりといましょう！

緑黄色野菜をたっぷりといましょう！

食物繊維は、腸内の有用菌を増やし、発がん物質を生成する腐敗菌を減らすので、日本人に急増している大腸がんの予防に有用です。ごぼう、筍、切干大根、きのこ類、海藻類、こんにゃくなどに多く含まれます。

●野菜のとり方は… 一日、350g以上とりましょう！！



種類	一日にとる目標量	摂取目安量
緑黄色野菜	合計 120~160g	ほうれん草 1/2 把強 春菊 1/2 把強 小松菜 1/3 把強 南瓜厚さ 3~4cm
その他の野菜	合計 240~280g	大根 3~4cm かぶ 1個 玉ねぎ(小)1個 もやし 1/2 袋弱

今月のヘルシーレシピ

冬のあったかメニュー 豚肉と冬野菜たっぷりポトフ

《材料》4人分

豚もも肉(固まり)…500g	固形コンソメ…2個
蕪……………4個	水……………5カップ
玉ねぎ…………1個	塩……………小さじ1/2
人参……………1本(100g)	こしょう…………少々
ごぼう……………小1本	ローリエ…………1枚
薩摩芋……………小1個	
南瓜…1/4個(正味300g)	
ブロッコリー……………1/2個	

《作り方》

- 1 豚肉に塩を多めに振って2時間ねかしておく。
- 2 鍋に水・コンソメ・ローリエでブイヨンを作り、さっと水洗いした肉を入れ、竹串がすっと通るまで煮込んだら、外に出しておく。
- 3 玉ねぎは櫛切り、人参は縦4つ割、ごぼうは5cm長さ、薩摩芋は2cm厚さの輪切りにする。 367Kcal コリステロール 85mg 蕪は半分に切り、南瓜、ブロッコリーは4つに分ける。 食物繊維 8.6mg
- 4 2の鍋に3の野菜を入れ中火で煮る。最後に肉を加え少し煮込み調味する。

